

## 第2回能美市地域公共交通協議会

### 議事録

日時：令和5年11月27日(月)14時00分～15時30分

場所：能美市役所本庁舎1階 大会議室

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

会長 あいさつ

※出席委員16名 うち代理2名 欠席委員 3名

事務局 5名

合計21名

#### 3. 議事

議案第5号 のみバス車両の移動等円滑化基準の適用除外について

[事務局より資料に沿って説明]

(議案第5号 原案のとおり承認を得る)

議案第6号 辰口中学校冬季通学利用バスの運行について

[事務局より資料に沿って説明]

(議案第6号 原案のとおり承認を得る)

#### 4. 協議事項

(1) 協議事項1 循環ルート(寺井地区)

[事務局より資料に沿って説明]

##### 【委員】

新ルートは湯谷、泉台、佐野、牛島、末信、寺井中央を通り、路線バスの走っているルートと重なりますが、競合しないのでしょうか。

##### 【事務局】

現状のルートにおいても一部路線バスと重複区間がある状態で運行しています。今回の見直しによって重複区間が若干伸びる形となりますが、この区間の路線バスは佐野線が運行しており、主に小松駅へのアクセスに使われるものと捉えています。一方、のみバスの循環ルートについては寺井地区内の移動を主に担うため、役割分担はなされていると考えています。

**【委員】**

佐野線は辰口から寺井を通過して小松に向かう幹線の役割を果たしており、自治体を越えた移動の手段と認識しています。旧寺井町内の移動についてはどちらに乗ってもいただいても構いません。料金の違いはありますが、役割の違いとして認識しています。

**【委員】**

利用者の利便性を考え、当該バス停への発着時刻が2、3分間隔など近い設定にならないよう路線バスとバスの運行時間の調整をする方が良いかと思えます。

**【委員】**

ダイヤを確認しておりませんが、のみバスの方が1日の本数は多いかと思えます。路線バスは本数が多くないため、逆に言うと遠距離の利用が主体であると考えられます。元々重複していたのも短い距離ですので、その区間だけ乗る乗客は殆どいないと認識しています。従って競合関係にはならないと考えています。

(2) 協議事項2 連携ルート（朝夕・特急）

[事務局より資料に沿って説明]

(3) 協議事項3 連携ルート（朝夕・南廻り）

[事務局より資料に沿って説明]

(4) 協議事項4 連携ルート（日中）

[事務局より資料に沿って説明]

**【委員】**

利便性が高まり、非常に良い見直しと感じています。一つ質問ですが、健康福祉センター・サンテを新しく経由するとのことですが、現状は外側を走っていますが、施設内まで入るという理解でよろしいでしょうか。

**【事務局】**

はい。

(5) 協議事項5 観光ルート

[事務局より資料に沿って説明]

**【委員】**

例えば、バス利用者が能美根上駅から松井秀喜ベースボールミュージアムに行った後に日中バスに乗って九谷陶芸村に行く場合、往路300円、復路200円になります。市内の観光施設を回ると運賃が加算されることとなるが、500円のフリー切符を設けるなど検討しているのでしょうか。

**【事務局】**

出発点から目的地に行くまでの間で途中乗り継ぎ券を利用して運賃を抑えることができるようになっていきます。観光ルートに乗り継ぐ場合は乗り継ぎ券を利用することで、追加料金なしで行くことができるようになっていきます。

また、観光ルートは、周遊を目的としていますので1日乗車券にあたるものも検討していきたいと考えています。

**【会長】**

乗り継ぎ券は乗務員の方から頂けるのでしょうか。乗り継ぎ券の周知方法はどのようにしていますか。

**【事務局】**

1つ目のルートを降りる際、100円を支払いますが、次のバスへ乗り継ぐことを乗務員に伝えていただきますと乗り継ぎ券が発行されます。乗り継いだバスの降車時に、その乗り継ぎ券を運賃箱に入れていただく流れとなります。周知方法としては、能美市公共交通ガイドに利用方法を記載しています。

**【会長】**

可能であればバス車内の目につく場所に掲示してもらえるとガイドを見なくても良いので、検討してみてください。

**【事務局】**

検討します。

**(6) 協議事項6 循環ルート（根上地区）、循環ルート（高座方面）**

[事務局より資料に沿って説明]

**【会長】**

協議事項の1から6までの説明と意見交換をさせていただきました。ルートの見直しについての協議事項は以上です。今後のスケジュールについて説明をお願いします。

**【事務局】**

変更内容を反映した運行の開始は、JRからIRいしかわ鉄道に移行する3月16日を予定しています。本日協議しましたルート案について、本日の意見を踏まえて調整した結果を12月中旬に書面表決で審議をお願いします。

**【会長】**

今回の協議事項に大きな変更を伴うものがなかったため、最終の承認は書面表決とさせていただきたいとのことですが、よろしいでしょうか。

**【全委員】**

異議なし。

**【会長】**

ありがとうございます。委員の皆様には12月中に書面評決にてルートを決めた後に、IRいしかわ鉄道の改正ダイヤを踏まえて、2月にダイヤ案について審議をお願いします。

5. その他

**【委員】**

寺井高校の生徒、保護者からはのみバスについて、御礼の言葉をいただいていると、寺井高校の校長先生から伺っていますのでお伝えします。

**【委員】**

2点、お聞きします。

まず、新しく導入されるワゴン車両については、ゆず美ん、ひぼ能んのイラストはラッピングされるのでしょうか。

また、中山間地は利用人数が少ないということで、ワゴン車両になった経緯もあるかと思いますが、フリー乗降は難しいのでしょうか。可能であればモデル地区として導入し、一定区間のフリー乗降を検討していただければありがたいです。

**【事務局】**

新しく導入するワゴンタイプの車両につきましては、ラッピングを施したいと考えています。デザインは現在検討中ですが、できればご提案のあったようにゆず美ん、ひぼ能んを使用できればと考えています。決まり次第ご報告します。

また、フリー乗降については、中山間地域で高齢化が進んでいる状況であり、必要な取り組みだと考えています。一方で、安全性の確保も必要となり、バス運行事業者と話し合いを進め、今後、可能な運行形式を検討します。

**【委員】**

地域自立支援協議会委員からの意見を共有します。知的障害をはじめとする障害を有する方は、バスのダイヤが変わる度に新しいダイヤでの訓練が必要になります。相談を重ね利用者や委員の意見も運営に活かしてほしいと意見がありました。

**【委員】**

のみバスの利用者のうち、例えば身体障害の方の比率や知的障害の方の比率、高齢者の比率がどれくらいになっているのか、調査されたことはありますか。

特に地方では身体障害者の方は利用を控える傾向にあるかと思います。障害を持った方の比率は、全国的に変わらないため、一度、何らかの形で調査や要望のヒアリングをされてはいかがでしょうか。

**【会長】**

ありがとうございます。能美市としてもインクルーシブシティとして、誰ひとりとして取り残さないということを掲げていますので、障害を持つ方の移動についても今後の課題として検討していきます。

**【委員】**

2点申し上げます。1点は利用促進策についてです。毎年、市民の意見を聞いたり、新しい住宅や施設を通るルートに見直していますが、新しく見直したルートについて、例えば、今回であれば各町内の公民館から寺井サービスセンターに行くルートと時刻、能美市立病院に行くルートと時刻を小さい時刻表にまとめてPRすればどうかと思います。とりわけ、北陸新幹線が延伸されると全国各地から様々な問い合わせがあるかもしれません。利用例を掲載した簡易な早見表を作成し利用促進につなげてはどうでしょうか。

もう1点はルート名称についてです。特に連携ルートは、例えば「東西ルート」など、もう少し分かりやすい名称にできないでしょうか。

**【事務局】**

まず、利用促進については、事務局による出前講座を行っております。今後、ルートなどを変更した場合にもぜひとも呼んでいただき、出前講座で説明させていただきたいと考えています。

また、障害のある方の潜在需要の調査は行き届いていない点があります。福祉課と連携し、今後調べてみたいと考えています。

また、委員のご提案のルート名称は、検討させていただきます。

**【会長】**

他にご意見がないようでしたら、一通り議題が終了しましたので進行を事務局にお返しします。

6. 閉会

**【事務局】**

皆様、長時間に渡り、本当にありがとうございました。以上をもちまして、第2回能美市地域公共交通協議会を終了いたします。本日はご多忙のところお集まりいただき誠にありがとうございました。

以上